

平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成22年1月7日

上場会社名 米久株式会社

上場取引所 東

コード番号 2290 URL <http://www.yonekyu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長

(氏名) 青柳 敏文

TEL 055-929-2797

四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	123,979	—	2,552	—	2,608	—	1,143	—
21年2月期第3四半期	128,091	6.6	3,526	63.6	3,527	66.6	697	△13.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第3四半期	39.84	—
21年2月期第3四半期	24.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第3四半期	77,497	41,769	46.3	1,250.36
21年2月期	83,903	40,666	42.0	1,227.52

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 35,889百万円 21年2月期 35,251百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	0.00	—	18.00	18.00
22年2月期	—	0.00	—		
22年2月期 (予想)				18.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,500	△2.4	4,240	△8.8	4,220	△9.0	2,760	175.7	96.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

[詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第3四半期	28,809,701株	21年2月期	28,809,701株
② 期末自己株式数	22年2月期第3四半期	106,970株	21年2月期	92,490株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第3四半期	28,707,900株	21年2月期第3四半期	28,724,603株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な不確定要因によって予想数値と大きく異なる場合があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計(9ヶ月)期間のわが国経済は、企業の在庫調整の進展や政府の経済危機対策などにより、昨年6月には景気の底打ち宣言がなされたものの、その後のデフレ顕在化と急速な円高の進行が景気回復の重石となり、引き続き大変厳しい状況で推移いたしました。

食肉加工品業界におきましても、消費者の生活防衛意識は弱まることなく、低価格品への需要シフトが続いていることに加え、低迷している食肉の国内相場も回復の足取りが鈍く、大変厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、第4次中期経営計画の2年目として、計画の基本戦略である「規模の拡大」「効率化の推進」「連結経営の強化」に引き続き取り組みました。加工品・食肉事業では、昨年6月に四日市支店を開業して営業力を強化するとともに、冷凍デリカ製品製造のアンゼンフーズ(株)を子会社化するなど、販売数量の拡大に注力してまいりました。また、外食事業を展開している子会社のチムニー(株)が継続的な出店を行い、店舗数を増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、消費低迷と食肉の国内相場安により、1,239億79百万円(前年同期比3.2%減)となりました。また、利益につきましては、加工品・食肉事業が第3四半期に回復したものの前半のマイナスを挽回できなかったことに加え、外食事業も減益となったことにより、営業利益が25億52百万円(前年同期比27.6%減)、経常利益が26億8百万円(前年同期比26.1%減)となりました。また、四半期純利益は特別損益の改善により、11億43百万円(前年同期比64.0%増)となりました。

なお、昨年11月に米国に本拠を置くカーライル・グループによるチムニー(株)の株式に対する公開買付けが発表され、12月に成立いたしました。当社および当社子会社はこれに応募し、それぞれ所有していた全ての株式を譲渡したことにより、同社は来期から連結除外となります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

<加工品・食肉事業>

加工品事業では、ハム等において消費者の節約志向に起因した低価格品への需要シフトにより、ローストビーフ等の価格帯の高い製品は減少となりましたが、業務用でお買い得感の高いロースハムやベーコンが引き続き好調を維持し、「ショルダーベーコン」「ローストポーク」も大幅に増加いたしました。これらの結果、ハム等全体の売上高・数量は増加いたしました。

ソーセージでは、「あらびきフランク」や「御殿場高原シリーズ」などの国産コンシューマー製品が大幅に増加いたしました。また、輸入品も、YONEKYU U.S.A., Inc.による業務用の「Booシリーズ」への需要が引き続き拡大し、好調に推移いたしました。これらの結果、ソーセージ全体の売上高・数量は大きく増加いたしました。

デリカテッセンでは、主力製品の「肉だんご」「トンカツ」が売上高を伸ばすとともに、新たに子会社となったアンゼンフーズ(株)製造の「春巻」「水餃子」も好調に推移したことから、売上高・数量が増加となりました。

食肉事業では、豚肉・牛肉・鶏肉の全ての畜種において数量を伸ばしたものの、国内相場が前年同期を大きく下回る水準で引き続き推移し、売上高は大きく減少いたしました。まず豚肉においては、これまで順調に数量を伸ばしてきた北米産の冷蔵豚肉が、国内相場安と昨年春先の新型インフルエンザの影響で減少となりました。次に鶏肉においても、同じく国内相場の低迷が売上高に響きました。一方、牛肉は割安感から輸入品が好調に推移し、数量を大幅に伸ばしました。

以上の結果、加工品・食肉事業の売上高は922億24百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は3億95百万円(前年同期比65.1%減)となりました。

<外食事業>

外食事業では、チムニー(株)が48店舗の新規出店を果たして売上高を伸ばしましたが、景況感の悪化に伴う価格競争の激化などにより利益面では厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、外食事業の売上高は301億54百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は21億49百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

<その他事業>

その他事業では、和洋菓子の製造販売を行う(株)平田屋が、コンビニ店舗向け洋菓子の拡販と冠婚葬祭関連企業向け営業の強化に努めましたが、売上高は微減となりました。また、当社のビール事業の売上高も若干減少いたしました。

以上の結果、その他事業の売上高は16億円(前年同期比4.3%減)、営業損失は1百万円(前年同期は営業損失49百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ64億5百万円減少し774億97百万円となりました。これは売上債権やたな卸資産の減少などによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計額は、前連結会計年度末に比べ75億8百万円減少し357億28百万円となりました。これは短期借入金や仕入債務の減少などによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ11億2百万円増加し417億69百万円となりました。これは、利益剰余金の増加などによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ41億2百万円減少し、79億42百万円となりました。

活動ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は52億9百万円の収入（前年同期は7億65百万円の支出）となりました。これは税金等調整前四半期純利益や、たな卸資産の減少などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は21億92百万円の支出（前年同期は36億39百万円の支出）となりました。これは食肉生産拠点の整備や外食事業の出店等に伴う有形固定資産の取得などによるものであります。

以上の結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリー・キャッシュ・フローは30億16百万円の資金増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は71億32百万円の支出（前年同期は11億39百万円の支出）となりました。これは借入金や割賦債務の返済、配当金の支払などによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結会計期間末における経営環境等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年10月1日に公表しました平成22年2月期の通期（連結・個別）業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、平成21年12月29日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,408	12,937
受取手形及び売掛金	14,171	16,005
商品及び製品	5,495	5,434
仕掛品	575	374
原材料及び貯蔵品	4,889	6,732
その他	3,093	2,713
貸倒引当金	△128	△180
流動資産合計	36,504	44,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,168	15,770
土地	8,324	7,777
その他(純額)	3,418	3,630
有形固定資産合計	27,911	27,178
無形固定資産	2,158	2,126
投資その他の資産		
その他	11,146	10,946
貸倒引当金	△222	△366
投資その他の資産合計	10,923	10,580
固定資産合計	40,992	39,885
資産合計	77,497	83,903
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,436	19,284
短期借入金	4,962	7,942
未払法人税等	543	1,165
引当金	1,177	1,480
その他	6,600	8,021
流動負債合計	30,719	37,893
固定負債		
長期借入金	343	648
引当金	1,012	829
その他	3,652	3,865
固定負債合計	5,008	5,343
負債合計	35,728	43,236

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,634	8,634
資本剰余金	8,377	8,377
利益剰余金	18,674	18,047
自己株式	△114	△99
株主資本合計	35,572	34,960
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	529	431
繰延ヘッジ損益	△64	8
為替換算調整勘定	△148	△150
評価・換算差額等合計	316	290
少数株主持分	5,880	5,415
純資産合計	41,769	40,666
負債純資産合計	77,497	83,903

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)
売上高	123,979
売上原価	92,505
売上総利益	31,474
販売費及び一般管理費	28,921
営業利益	2,552
営業外収益	
受取利息	35
受取配当金	17
その他	360
営業外収益合計	413
営業外費用	
支払利息	107
持分法による投資損失	106
その他	143
営業外費用合計	357
経常利益	2,608
特別利益	
投資有価証券売却益	60
貸倒引当金戻入額	100
受取補償金	92
退職給付制度終了益	64
特別利益合計	318
特別損失	
固定資産除却損	127
減損損失	90
その他	97
特別損失合計	315
税金等調整前四半期純利益	2,610
法人税、住民税及び事業税	1,273
法人税等調整額	△435
法人税等合計	838
少数株主利益	628
四半期純利益	1,143

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)	
売上高	41,745
売上原価	30,985
売上総利益	10,759
販売費及び一般管理費	9,896
営業利益	863
営業外収益	
受取利息	11
受取配当金	0
その他	165
営業外収益合計	177
営業外費用	
支払利息	33
為替差損	34
持分法による投資損失	29
その他	26
営業外費用合計	123
経常利益	916
特別利益	
貸倒引当金戻入額	29
特別利益合計	29
特別損失	
固定資産除却損	23
減損損失	30
その他	5
特別損失合計	59
税金等調整前四半期純利益	887
法人税、住民税及び事業税	430
法人税等調整額	△383
法人税等合計	46
少数株主利益	163
四半期純利益	676

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,610
減価償却費	2,871
減損損失	90
のれん償却額	37
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△199
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△903
受取利息及び受取配当金	△52
支払利息	107
持分法による投資損益 (△は益)	106
有形及び無形固定資産除却損	127
売上債権の増減額 (△は増加)	2,251
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,809
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,941
未払消費税等の増減額 (△は減少)	156
その他	16
小計	7,087
利息及び配当金の受取額	54
収用補償金の受取額	92
利息の支払額	△107
法人税等の支払額	△1,917
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,209
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,479
有形及び無形固定資産の売却による収入	24
投資有価証券の取得による支出	△21
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	62
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△164
貸付けによる支出	△300
貸付金の回収による収入	453
敷金及び保証金の差入による支出	△831
敷金及び保証金の回収による収入	226
その他	837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,997
長期借入れによる収入	200
長期借入金の返済による支出	△1,560
配当金の支払額	△516
少数株主への配当金の支払額	△93
割賦債務の返済による支出	△1,159
その他	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,132
現金及び現金同等物に係る換算差額	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,102
現金及び現金同等物の期首残高	12,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,942

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)

	加工品・食 肉事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,139	10,125	480	41,745	—	41,745
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	93	0	121	216	△216	—
計	31,232	10,126	602	41,961	△216	41,745
営業利益又は損失 (△)	356	523	△18	860	2	863

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)

	加工品・食 肉事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	92,224	30,154	1,600	123,979	—	123,979
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	301	1	386	689	△689	—
計	92,525	30,155	1,986	124,668	△689	123,979
営業利益又は損失 (△)	395	2,149	△1	2,543	8	2,552

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日) 及び当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日) 及び当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 第3四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年11月30日)		百分比 (%)
	金額 (百万円)		
I 売上高		128,091	100.0
II 売上原価		96,620	75.4
売上総利益		31,470	24.6
III 販売費及び一般管理費		27,943	21.8
営業利益		3,526	2.8
IV 営業外収益			
1. 受取利息	37		
2. 受取配当金	22		
3. 賃貸不動産収入	53		
4. その他	192	305	0.2
V 営業外費用			
1. 支払利息	121		
2. 賃貸不動産費用	45		
3. 為替差損	62		
4. 有限責任会社投資損失	27		
5. その他	47	304	0.2
経常利益		3,527	2.8
VI 特別利益			
1. 受取補償金	77	77	0.0
VII 特別損失			
1. 固定資産除却損	246		
2. 減損損失	33		
3. 事業整理損失引当金繰入額	645		
4. 商品廃棄損	91		
5. 債務保証損失引当金繰入額	67		
6. その他	196	1,279	1.0
税金等調整前四半期純利益		2,325	1.8
法人税、住民税及び事業税	1,544		
法人税等調整額	△516	1,027	0.8
少数株主利益		599	0.5
四半期純利益		697	0.5

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年11月30日)
区分	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,325
減価償却費	2,745
減損損失	33
のれん償却額	29
貸倒引当金の増加・減少 (△) 額	130
事業整理損失引当金の増 加・減少 (△) 額	645
債務保証損失引当金の増 加・減少 (△) 額	67
受取利息及び受取配当金	△60
支払利息	121
持分法による投資利益 (△)・投資損失	△1
有形・無形固定資産除却損	246
売上債権の増加 (△)・減 少額	△3,957
たな卸資産の増加 (△)・ 減少額	△5,940
仕入債務等の増加・減少 (△) 額	3,319
未払消費税等の増加・減少 (△) 額	△99
その他	1,375
小計	978
利息及び配当金の受取額	59
利息の支払額	△160
法人税等の支払額	△1,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	△765

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年11月30日)
区分	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形・無形固定資産の取得による支出	△2,666
有形・無形固定資産の売却による収入	31
投資有価証券の取得による支出	△21
投資有価証券の売却による収入	12
貸付けによる支出	△788
貸付金の回収による収入	297
敷金及び保証金の差入による支出	△548
敷金及び保証金の返還による収入	92
その他	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,639
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増加・減少(△)額	1,090
長期借入れによる収入	50
長期借入金の返済による支出	△528
配当金の支払額	△516
割賦債務の返済による支出	△1,146
その他	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,139
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△52
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△5,596
VI 現金及び現金同等物の期首残高	12,986
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	7,390

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年3月1日 至 平成20年11月30日)

	加工品・ 食肉事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	96,852	29,567	1,671	128,091	—	128,091
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	396	1	403	801	△801	—
計	97,248	29,568	2,074	128,892	△801	128,091
営業費用	96,115	27,140	2,124	125,380	△815	124,564
営業利益又は損失(△)	1,133	2,428	△49	3,512	14	3,526